

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成28年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	http://www.okk.or.jp

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 所在地 大分市大津町2丁目1番4号 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部地域福祉推進室 TEL: 097-506-2620
-------	---	-----------------	-----------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	社会福祉事業従事者を対象とする研修 介護に関する研修 高齢者及び介護者の総合相談 福祉人材に係る無料職業紹介 福祉機器等の展示及び情報提供 ～のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ペット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	[該当なし]
閉館日	月曜日、国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたることを除く。） 12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 (5段階評価)	平成25年度	4.00	4.53	113.3
	平成26年度	4.00	4.54	113.5
	平成27年度	4.00	4.57	114.3
	平成28年度	4.50	4.66	103.6
利用者数 延べ利用者数	平成28年度	49,000	51,166	104.4

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
	平成25年度	2,926	3,057	3,999	3,831	3,893	3,210	
平成26年度	2,576	3,137	4,841	4,758	5,201	5,312		
平成27年度	3,141	3,418	5,046	5,063	4,882	3,825		
平成28年度	2,750	3,263	4,385	4,523	3,447	4,316		
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
平成25年度	3,820	5,837	3,527	2,418	3,067	2,807	42,392	
平成26年度	6,141	5,957	2,304	3,239	3,761	2,064	49,291	
平成27年度	6,267	6,079	3,803	2,946	3,634	2,824	50,928	
平成28年度	7,154	7,472	3,969	2,840	3,419	3,628	51,166	

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	全研修会においてアンケートを実施 アンケート内容: 内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 対象研修数: 66、対象者数: 18,944名、回答者数: 17,626名、回収率: 94.5%
	実施結果	研修会等のアンケートの評価レベルについては、4.66と高評価であった。 ・最高: 5.00、最低: 3.44、平均4.66 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果、 テーマ設定、講師選定とともに受講者の評価が向上し、評価レベルの平均値が毎年アップしている。 ・意見についても、施設の整備・維持、職員の対応、研修内容、講師選定について良好な評価を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
明野日の出自治会長より第二駐車場の側溝の法面の土や石が落ち雑草が生えているので対応してほしい。		月に1度の職員一席清掃を実施することとした。
小さい子を持つ親として、土・日曜日研修は保育預かりが難しい。平日に実施して欲しい。		講師の調整等難しいことですが、検討していきたいと考えています。
年度末は参加しづらい。		来年度は早めの開催を予定しています。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>すべての研修会でアンケート調査を行い、また、各階の来館者の目に付きやすい場所に「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞く機会を設けている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、対応出来るものから速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて、玄関入口の掲示場所に掲示している。</p> <p>民間の福祉事業者・事業所の大幅な増加に対応して、従来の社会福祉法人を中心とした文書での研修案内から、きめ細かく各事業所あて直接電子メールでの研修案内を実施し、広く情報提供を行っている。</p> <p>県内の福祉施設、企業等の要請に基づき、福祉用具や介護支援及び自立支援型ロボットなどを福祉施設や地域、企業のイベントに合わせて展示を行った。また、参加者に対し福祉用具の利用、活用方法の説明をすることにより、地域での普及・啓発を推進を図った。(7ヶ所: 2,627名)</p> <p>当センターの魅力を一一般県民や福祉介護従事者等にPRし、近年急速に普及しているスマートフォンやタブレット端末などでも検索しやすく的確に検索結果が表示され、表示を最適化するようにリニューアルした。また、高齢者や障がい者に配慮した文字サイズに変更した。また、最新の情報を提供できるように職員による作成、更新等の管理できるようにした。また、外部からの攻撃対応できる最新のセキュリティを強化した。また、図書・ビデオ・DVDの貸出リストを掲載し今後、検索可能な機能の充実をする。</p> <p>高齢者総合相談センター(シルバー110番)について、認知症に関する困難事例等の相談が増加する中で、「認知症の人と家族の会大分県支部」と連携した相談体制の充実に努めたほか、併設する福祉用具展示場に、介護ロボットコーナーを設置し体験型常設展示を行うなど最新鋭の福祉用具を展示し、福祉用具の普及啓発に努めた。</p> <p>求職者の求職活動の参考資料として、「社会福祉施設ガイドブック」を作成・配布した。</p>
イベント等の充実	<p>福祉のしごと就職フェアの開催 (県下5ヶ所) 参加者数145名 参加事業所 延べ121事業所 就職決定者数30名</p> <p>「センターまつり&げんきフェア2016」(県保健医療団体協議会等と共催実施/11月6日): 福祉用具アイデア作品展、介護食コンテスト、福祉用具・介護ロボットの体験型展示会、福祉車両展、福祉体験・相談、講演会等の実施 参加者919名 介護ロボットコーナー開設式典 平成28年度10月19日(水)</p> <p>介護ロボット貸出: 1.ロボットスーツHAL 10台、2.ロボヘルパーSASUKE 3台、施設向けみまもりシステム 3台、リフト付シャワーキャリー 3台、ロボットアシストウオーカーRT.1 10台、6.服薬支援ロボ 5台</p> <p>福利厚生センター 77法人 182事業所 3,865名加入</p>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収入額(A)		214,656	208,320	210,289	210,306
内 訳	県からの委託料	150,305	154,599	153,044	152,528
	利用料金	40,488	42,094	40,590	41,779
	事業収入	484	484	484	484
	自主事業収入	7,122	7,871	8,781	9,377
	その他(繰入金・雑収入)	16,257	3,272	7,390	6,138
支出額(B)		214,656	208,320	210,289	210,306
内 訳	人件費	119,258	108,292	108,993	108,698
	維持管理費	32,155	32,608	32,169	30,726
	事業費	29,274	31,297	32,246	33,235
	自主事業費	33,969	36,123	36,881	37,647
	その他()	0	0	0	0
収支差額(A - B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成25年度							
	平成26年度			該当なし				
	平成27年度							
	平成28年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成25年度							0
	平成26年度							0
	平成27年度							0
	平成28年度							0

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制								
	職員数 (H28.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	6		17	2	3		28	

1.1. 適正な管理運営に係る主な取組内容

<p>職員の資質・能力の向上</p>	<p>OJTにより、職員の接遇向上に努めた。</p> <p>研修講師との打合せ会議、研修企画協議など、職員の研修企画力向上に努めた。</p> <p>大学・関係機関等が開催する専門研修へ積極的に参加し、専門知識及びスキルを深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材情報システム研修会(東京都) ・福利厚生センター新任職員研修会(東京都) ・福祉人材センター・バンク所長会議(東京都) ・全国福祉人材センター全国会議(東京都) ・相談支援従事者指導者養成研修会(埼玉県) ・社会福祉研修実施機関連絡会議(長崎市) ・日本老年泌尿器科学会(福岡市) ・日本在宅ケア学会学術集会(東京都) ・介護支援専門員実務者研修テキスト・講師用マニュアルに係る説明会(東京都) ・職業紹介責任者講習会(福岡市) ・福祉人材センター業務・法令研修(東京都) ・電話相談京都ワークショップ日本電話相談学会(京都市) ・マッチング機能強化研修(東京都) ・求職・求人マッチング活動等に関する実践研究会議(長崎市) ・社会福祉研修実施機関代表者連絡会議(広島市) ・福祉人材センター・バンク基幹職員会議(東京都) ・日本認知症予防学会学術集会(神戸市) ・東京国際福祉機器展(東京都) ・福祉用具の日2016(鹿児島市)・西日本国際福祉機器展(北九州市) ・九州ブロック福祉人材センター・社会福祉研修実施機関連絡会議(長崎市) ・九州ブロック介護実習普及センター等代表者及び担当者会議(那覇市) ・介護支援専門員研修テキスト活用方法伝達研修(東京都) ・修了評価及び実習の受入れに関するガイドライン全国説明会(東京都) ・第18回西日本国際福祉機器展(北九州市) ・介護研修専門員研修向上会議(東京都)・介護ロボット導入視察(つくば市) ・介護ロボット・高機能自立支援機器展示場視察(神戸市)
<p>防災に関する研修・訓練</p>	<p>年度当初に、職員研修を開催し、「施設管理マニュアル」・「事故等対応マニュアル」・「新型インフルエンザ対応マニュアル」・「ノロウイルス対応マニュアル」の周知徹底を図るとともに、平常時からの危機管理意識の保持に努めた。</p> <p>総合消防訓練(年2回)、救急法(人工呼吸・AED操作)研修会を開催し、緊急の際には、全職員が適切な対応ができる体制とした。</p> <p>南阿蘇災害ボランティアセンターへ5名派遣</p>
<p>安全対策等</p>	<p>危険物の保管箇所については、施設による厳重な管理を行った。</p> <p>防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。</p> <p>危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。</p> <p>エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。</p>